

令和6年度 学校園評価(関係者評価)シート

学校園名	加古川市立しかたこども園
------	--------------

1 教育・保育目標 「心豊かに感じ、自分らしさを発揮し、生き生きと遊ぶ子ども」

2 基本方針

- 集団生活の中で、一人一人が自分らしさを輝かせ、生き生きと遊べる環境をつくる。
- 子ども達の発達や学びと生活の連続性を考慮し、一人一人が自分の思いや考えをもって、主体的に生活できるようにする。

3 指導目標

- 生活リズムを整え、健康な心と体を育む。
- 身近な自然や環境に親しみ、科学性の芽生えを育む。
- ねばり強く、自らやろうとする意欲や態度を育む。
- 人と関わる喜びを感じ、愛情や信頼感を育む。
- よく見、よく聴き、よく考えて、自分の思いを表現する力を育む。

評価基準

A:できている B:だいたいできている C:あまりできていない D:できていない E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ(関係者評価)	達成状況
基本的な生活習慣の確立と決まりある生活態度を育成する	<ul style="list-style-type: none"> ○早寝、早起き、食事、運動、挨拶などの生活リズムを整える。 ○思いきり体を動かして遊び、体力の向上を図る。 ○安全に生活するための集団生活のルールや約束を知り、守ろうとし、自分の気持ちをコントロールする。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して、えんだより、ほけんだより、食育だよりを毎月発行し、生活リズムの大切さや基本的な生活習慣についての情報を発信してきた。また、園児が食に興味をもったり感謝の気持ちをもったりできるように、関連ある話をしたり、ヤクルトによる「おなかの教室」の取り組みを行ったりした。地産地消や体の仕組みを知る機会となった。 ・戸外遊びの時間を十分に設け、各学年の発達年齢に応じた遊びを展開してきた。保育教諭や友達と一緒に体を動かして様々な遊びをする心地よさを感じることができた。 ・遊びや生活の中で必要なルールを考えたり、善悪の判断を知らせたりするようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが進んで挨拶ができるようになっている。 ・小さい頃の生活習慣は非常に大事で、その大切さを園で教えてもらっている。 ・食育の取り組みは、大切なのでこれからも続けてほしい。 ・1年間を通じて、子ども達が自分達で考えて行動できるようになっていて成長を感じる。 	A
様々な体験活動を通して、人と関わる喜びを感じ、愛情や信頼感、自尊感情を育む	<ul style="list-style-type: none"> ○園児が安心感をもって登園し、保育教諭や友達に親しみをもてるような援助を心掛ける。 ○様々な人との触れ合いを通して親しみを持ち、相手の思いに気付き、その良さや違いを認め合えるように関わる。 ○園児の心の読み取りを意識しながら保育し、園児同士の心をつなぐ援助を心掛ける。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・笑顔で子ども達に接し、しっかりと向き合うよう心掛けた。また、家族との連携をしっかりとるようにし、子どもにとって安心できるよう関わっていくようにしたことで、毎日期待をもって登園してきている。 ・他クラスとの異年齢交流や地域の方々(小中学生、園ボランティア、ヴィア播磨、志公大学等)との交流を通して、親しみをもって交流を楽しむことができた。地域の中でのびのびと育っていることへの感謝の気持ちを感じる機会となった。 ・友達の思いに気付いたり、互いに思いやりをもって関わったりできるように、話を整理したり、橋渡しをしたりして一人一人の思いに寄り添うことを意識した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生達が子ども一人一人としっかりと向き合ってくれている。園での子ども達が笑顔で楽しそうである。子ども達も先生を信頼しているのだと思う。 ・他クラスや地域の人との交流を通して、信頼感や自尊心が十分に育まれている。 ・地域の方に見守られている良い環境の園だと思う。ここで成長する子ども達も、素直で思いやりがあると思う。 	A

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ（関係者評価）	達成状況
豊かな遊びと経験の中で、豊かな感性や表現力、知的好奇心、科学性の芽生えを培い、生きる力を育む	<p>○自然事象を話題にしたり、自然物に目を向けたり、虫や小動物を飼育したりして、興味や関心をもてるように保育する。</p> <p>○身近な自然や環境に親しみ、試行錯誤したり協力したりできる環境や援助を意図的に考えて保育する。</p> <p>○自分の考えたことや思いを言葉や身体で自分なりに表現し伝え合いながら、イメージを共有して遊べるよう関わる。</p>	B	<p>・自然に恵まれた園庭で四季折々の自然に触れて遊び、ごっこ遊びや製作に取り入れた保育計画をすることができた。また、園外保育に出掛けることが昨年よりも増え、各学年の発達や興味関心に沿った活動になった。一方で、2学期後半は行事や活動に追われ、自然を感じて遊んだり、じっくりと試行錯誤したりしながら楽しめる環境を整えることが難しかった。</p> <p>・五感を通して感じたことをそれぞれの発達段階に応じて、言葉や身体で伸び伸びと表現しながら、イメージの共有を楽しむことができた。</p>	<p>・自然豊かな環境を活かした保育ができています。</p> <p>・行事の関係と天候の影響で、計画しても実施できないことも多かったと思うが、自然に恵まれた園なので、こども達は自然を体で感じ、色々と考え、楽しんでいると思う。</p> <p>・行事や活動が一定の時期に集中することはやむを得ないことだと思う。</p> <p>・スケジュールの見直しをすることで、問題にはならないと思う。</p>	A
地域・家庭・学校と連携、協働し、教育・保育を推進する	<p>○地域に情報発信をして協力体制を構築し、地域環境を教育・保育に活用していく。</p> <p>○園児の家庭での様子や園での姿を伝え合い、園児の育ちを相互理解し、信頼を得る。</p> <p>○「学校園連携ユニット」の校種間連携を密にし、連続した学びを保障する。</p>	A	<p>・地域の行事に参加したり、小学生との定期的なふれあい交流をしたりすることができ、地域に親しみをもったり、興味をもつきっかけになったりした。</p> <p>・毎日、各クラスの活動や取り組みをホワイトボードに書いて掲示し、保護者に発信している。また、クラスだより、わくわくニュース、HP等を作成し、園の保育活動を可視化することで園児の育ちや学びを共有することができた。</p> <p>・ユニット会議等を通して、園のねらいやこどもの姿、育ち、行事等について丁寧に情報を伝え、学びの接続を意識した。</p>	<p>・地域の行事にも参加していて、地域の人達も楽しみにしている。</p> <p>・地域との関わりをこまめにしている。</p> <p>・色々な方法で園の活動が可視化できる取り組みはすばらしいと思う。</p> <p>・クラスだより、わくわくニュース、HP等で、園での取り組みを保護者に発信できている。</p>	A
保育教諭としての専門性を磨き、資質の向上を図る	<p>○研修を積み、専門性を高めることで、保育の質をより向上させる。</p> <p>○人権感覚を磨き、保育教諭一人一人の良さを発揮しながら、園児のモデルとなる自分を意識して研鑽する。</p>	A	<p>・キャリアアップ研修や幼小接続研修など、園外での研修の機会を活用し、保育知識の向上に努めた。短時間勤務のパート保育教諭への周知は、研修資料を回覧したり、口頭で伝えたりして情報共有に務めた。</p> <p>・特別支援児へのサポート体制においては、共通理解ができるように定期的に職員会議を行い幼児理解に務めた。</p> <p>・園内では倫理研修、人権研修等計6回研修の機会をもち、公務員としてコンプライアンスの向上に努めたり、一人一人の人権意識を高めたりできるような内容の工夫を行った。</p>	<p>・園外での研修に積極的に参加している。</p> <p>・園外での研修は得るものが多いと思うが、そのために教諭の負担が増えていないか心配である。</p> <p>・こども達一人一人のことを考え、共有してもらっていることが良かった。</p> <p>・特別支援児に対しても、先生方がよく理解し、サポートに務めている。</p> <p>・未来あるこども達にとって、この園でもらった愛情がこの先も、ずっと心に残っていくと思う。</p>	A